

○企業・法人等への主な支援・補助制度（令和5年度版）

佐賀県では、野菜・果樹・花・茶といった園芸農業の産出額を

令和10年度までに「888億円の伸び率」を達成し、「さが園芸888運動」を展開していきます。

施設・機械整備のための支援（新規就農の場合）

事業名	さが園芸888整備支援事業 （経営基盤強化対策）	産地生産基盤パワーアップ事業 （収益性向上対策）	強い農業づくり総合支援交付金 （産地基幹施設等支援タイプ）
事業主体	市町長が特に必要と認める以下のいずれかの者等 ・農事組合法人、農地所有適格法人 または認定農業者である法人 ・市町との進出協定等を締結し、農業経営を開始する会社法人など	地域農業再生協議会が作成する「産地パワーアップ計画」に参加する農業者、農業者団体、（農業協同組合、農事組合法人、農地所有適格法人、その他農業者が組織する団体）など	農業者の組織する団体、事業協同組合、中間事業者など
補助率 （交付率）	県50%、市町10%	国50%、県20%、市町5%	国50%、県20%、市町5%
交付金上限	県費における1事業実施主体当たりの補助金上限額は、1受益農業者当たり3,000万円/年度	農政局長等が別に定める場合にあっては、その率または額とする 県費における1事業実施主体当たりの補助金上限額は、1受益農業者当たり3,000万円/年度	農政局長等が別に定める場合にあっては、その率または額とする 県費における1事業実施主体当たりの補助金上限額は、1受益農業者当たり3,000万円/年度
整備内容	園芸用ハウス、機械等	低コスト対候性ハウス、機械等 低コスト対候性ハウスとは：耐風速50m/s以上又は耐雪荷重50kg/m ² 以上の強度を有し、プラスチックフィルムを被覆資材とした共同で利用するハウスとし、かつ、設置コストが同規模、同強度の鉄骨ハウスの7割以下のもの	

注：規模拡大においては補助率が異なる場合があります

農地の基盤整備のための支援

事業名	法人経営農地整備事業	農地中間管理機構関連 農地整備事業	基盤整備促進事業 （さが園芸888推進型）
事業主体	県	県	市町
補助率	国50(55)%、県27.5% 地元22.5(17.5)%	国62.5%、県25.0%(27.5%)、 市町12.5%(10.0%)	国50(55)%、県15% 市町15%以上 農家20(15)%未満
整備内容	①農業用排水施設、暗渠排水、区画整理、農作業道など ②侵入防止策、果樹棚、果樹根域制限システムなど ※②のみの実施は不可	区画整理、農用地造成、農業用排水施設、農業用道路、暗渠排水など	①農業用排水施設（井戸等）、暗渠排水、土壌改良、区画整理、農作業道等、農地造成、農用地の保全 ②侵入防止柵、果樹棚、自動給水栓、果樹根域制限システム（マルチ除く）など ※②事業のみの実施はできません。

注：補助率欄の（ ）は、5法指定地域等の補助率です



佐賀県は

企業の農業参入を

支援します

ビジネスチャンスを
はSAGAに！

お問い合わせ

佐賀県 農林水産部 農業経営課

agri-entry@pref.saga.lg.jp

TEL 0952-25-7422

佐賀 企業参入

検索

御相談はこちら



<https://logoform.jp/f/VVajL>

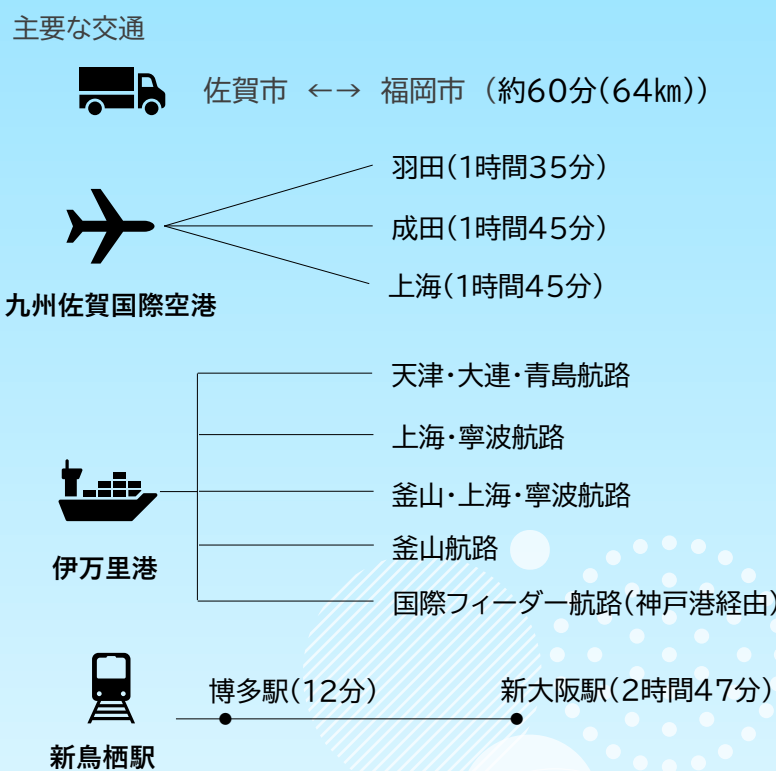


さが園芸888運動

チャレンジ！活気あふれるさが園芸へ

○佐賀県の魅力

福岡県と長崎県の間に位置する佐賀県。
 有明海と玄界灘、違った表情を持つ2つの海、緑深き山々、温暖な気候、肥沃な大地は、豊富な農作物をもたらし、多彩な食文化を育てています。
 また、鉄道や高速道路が交差する九州の交通の要衝としても知られており、伊万里港や唐津港、九州佐賀国際空港からアジアへとつながっています。



○農業を取り巻く環境



佐賀平野は、水田面積に対する山地面積が小さく、乏しい水資源を効率よく反復利用するため、「クリーク」と呼ばれる農業用排水路網が発達しています。



水



年間日照時間は2111時間(R3)と全国平均を上回ります。特に有明海沿岸の平野部は日光を遮るものが少なく、朝日を十分にに取り込みやすい環境です。
 また、年平均気温は17度前後の地域が多く、全般的に温和です。

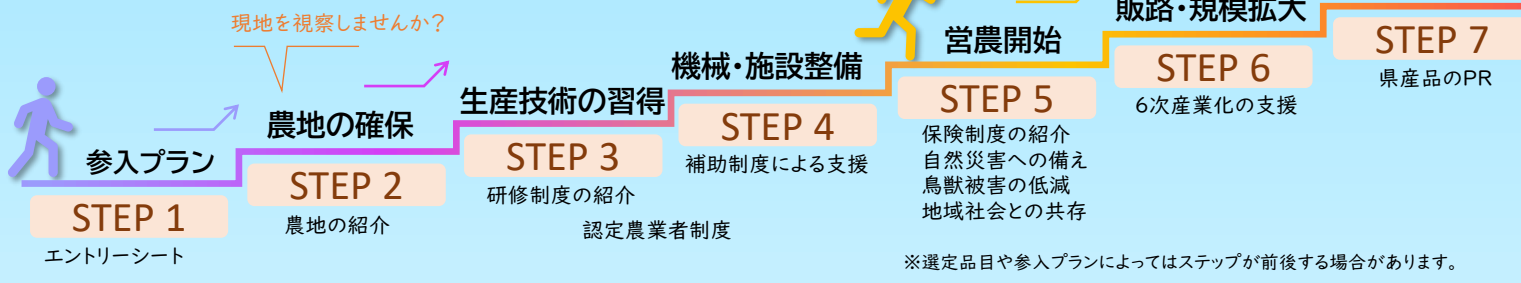
光 温度



佐賀平野は、九州最大の筑後川から火山灰や土砂の供給と日本最大の干満差を持つ有明海により繰り返される潮の満ち引きによる自然の造陸現象、江戸時代からの干拓事業により形成された広大な平野であり、粘土質でミネラル分が豊富です。表作は水稲や大豆、裏作には麦類や露地野菜などによる二毛作地帯となっており、耕地利用率は133.7%と36年連続日本一となっています。

土 農地

○サポート体制



POINT 参入プランを立てるために明確化したい5項目

- 何を作りたいか** 栽培技術 機械化の有無
- どのくらい生産したいか** 農地面積、栽培環境 経営規模、雇用確保
- いつまでに営農を開始したいか** 補助金活用の意向 スピード感を共有
- これらを達成するために、必要な技術、施設 機械は何か** サポートが必要な項目
- 販路をどうするか** 農業経営の継続性

○全国へ誇る農産物

- 佐賀牛** 大阪中央卸売市場への和牛出荷頭数 全国2位 (R3年度)
- 新品種「にじゅうまる」** R3年デビュー
- ハウスミカン** 出荷量全国1位 (R4年産)
- たまねぎ** 出荷量都府県2位 (R4年産)
- ハウス幸水なし** 出荷量全国1位 (R4年産)
- れんこん** 出荷量全国2位 (R4年産)
- 米の食味ランキング「さがびより」** 13年連続特A評価 (R4年産)
- 二条大麦** 収穫量全国1位 (R4年産)
- アスパラガス** 出荷量都府県2位 (R4年産)

整備された生産基盤を活用 耕地利用率133.7% 36年連続全国1位! (R3年)

さが園芸888運動
 チャレンジ! 成長あふれるさが園芸へ

888運動 ホームページはこちら

お問い合わせ

佐賀県農林水産部農業経営課

TEL 0952-25-7422